

遠州織物 斬新に

静岡文化芸術大生 服飾作品展示

中区

遠州織物の生地を使った静岡文化芸術大生の服飾作品展「纏(まこと)う展」が6日から8日まで、浜松市中区鴨江の浜松いわた信用

金庫蛭塚支店で開かれた斬新なデザインでの生地の特長を引き出した9点を展示する。遠州織物の価値を若者の視点で捉え、多く



学生が遠州織物の生地で制作した服飾品＝浜松市中区

の人に身近に感じてもらおうと、デザイン学部3年小菅陽生さんから13人のグループが企画した。小菅さんは「ハツ

グ用の生地でジャケットを制作。密度が高く強い遠州織物の特性を生かし、大きなサイズでも型崩れしない作品に仕上げた。

小菅さんは「伝統的な旧式の織機でしか編めない、独特の強さがある。触れたり試着したりして遠州織物の良

さを感じてほしい」と話した。展示は5月に大学内で、7月には静岡市の静岡伊勢丹で実施し、今回が3回目。